

R5.3.13
第9回 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会
第4回 阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議

減災対策協議会における各機関の取組状況

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
1. ハード対策の主な取組																						
■洪水を河川内で安全に流す対策																						
・河道掘削 ・侵食対策 ・浸透対策 ・築堤	U.V	引き続き実施	洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進	・洪水を安全に流すため及び危機管理型のハード対策を推進する	引き続き実施			・洪水を安全に流すため及び危機管理型のハード対策を推進する。	引き続き実施													
				・下里地区河道掘削工事中【R3年度】新橋梁の架替・特殊堤の設置が完了 「防災・減災・国土強靱化のための3カ年緊急対策」でH30年度より河道掘削(樹木伐採)、浸透対策実施	引き続き実施			【R5.3末現在】 ・支川は新井郷川、大通川(新潟)、福島潟(新潟)、駒林川(新潟)の工事を実施 ・阿賀野川の工事を実施(津川) ・H30~R2年度防災・減災・国土強靱化関係予算(緊急対策)等による河床掘削工事・伐木業務委託等を実施(新発田・新潟・新津・津川) ・R3~R4年度は緊急浸透推進事業債を活用した河床掘削工事・伐木業務委託等を実施(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き実施													
			防災拠点等整備の検討	・防災拠点等の整備を検討する	引き続き実施																	
				検討中【R5.3現在】	引き続き実施																	
・本川と支川の合流部等の対策	V.W			・藤戸川合流点処理【R4年度】逆流防止樋門・築堤護岸の工事を実施中																		
・多数の家屋や重要施設等の保全対策	V.W			主要降雨等による浸水被害を防止・軽減するために河川改修等の対策を実施																		
・重要インフラの機能確保	V.W			主要降雨等による浸水被害を防止・軽減するために河川改修等の対策を実施																		
■流出抑制対策																						
・ダムの高上げ、遊水地の整備	V		遊水地の整備、ダムの高上げ																			

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
■内水対策																						
・排水機能の 配備	T	引き続き 検討	排水ポンプ場の整備 等の、排水ポンプ車 の整備	・排水ポンプ車の更新・ 増強 ・排水ポンプ車や照明 車等の災害対策車両・ 機器について、平常時 から定期的な保守点検 を行い、災害発生時の 出動体制を確保	・引き 続き 実施							雨水ポンプ場の整備の 検討	調整 池 整備 後 に 整備					排水ポンプ車等の整備 検討。※県内導入事例 の情報収集を実施。	引き 続き 検討	既存排水機場の維持 管理 排水ポンプ車を整備 (R5.3)		
	・調整池の整備 ・田んぼダムの 活用	T	引き続き 実施	調整池等の整備									調整池、雨水貯留施設 による浸水対策の実施	引き 続き 実施							既存箇所の維持管理	
			田んぼダムの整備・ 活用									田んぼダムの活用	引き 続き 実施									
■危機管理型ハード対策																						
・堤防天端の 保護 ・堤防裏法尻 の補強	W	H28 年度 から 順次 整備	堤防天端の保護	・堤防天端の保護 H28年 度か ら順 次整 備	引き 続き 実施							・堤防天端の保護 H28年 度以 降検 討	引き 続き 実施									
				・堤防天端の保護につ いてH29年度完了								【R4.3末現在】 ・福島潟で一部実施済 (新発田、新潟) ・阿賀野川(白崎、吉津 工区)、中ノ沢川(岡沢 工区)を実施済(津川)										
■避難路・避難場所の安全対策の強化																						
・避難通路等 の整備	D																					
■流域対策に関する取組																						
・平成16年7 月、同23年7 月を上回る 豪雨に襲わ れても壊滅 的な被害を 招くことの ないよう、新 たな治水対 策の検討を 実施	D,E	引き続き 実施	平成16年7月、同23 年7月を上回る豪雨 に襲われても壊滅的 な被害を招くことの ないよう、新たな治水 対策の検討	・新たな治水対策の検 討を実施 ・新たな治水対策の検 討を実施新たな治水 対策の検討を実施	引き 続き 実施								検討中。	引き 続き 実施						県へ水位計、簡易カメ ラ設置要望		
	・流域におけ る氾濫被害 軽減に向け た対策の検 討を実施	D,E	引き続き 実施	外水氾濫の被害軽 減に向けた対策の 検討	・外水氾濫の被害軽減 に向けた対策の検討を 実施 ・外水氾濫の被害軽減 に向けた対策の検討を 実施	H28年 度か ら検 討 引き 続き 実施							【R4.3末現在】 ・外水氾濫被害軽減に に向けた掘削等のハード 対策を実施(新発田、 新潟)	引き 続き 実施				防災塾の開催時に早 期避難を周知。	引き 続き 実施	・ハザードマップに家屋 倒壊等氾濫想定区域 など、早期立退き避難 区域を設定・明示。	ハザードマップに家屋 倒壊等氾濫想定区域 など、早期立退き避難 区域を設定・明示。区 長会議時に早期避難 について周知。	自主防災組織へ出前 講座時に早期避難の 周知
・二線堤整備 、保全	D,E																					
・家屋移転、 災害ハザ ードエリア からの移転	D,E, F																					

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
	・宅地嵩上げ	D,E,F																				
	・浸水防止施設等の整備	D,E,F																				
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																						
①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M,P,Q	H28年度から検討	水防資機材の確認・整備	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・水防資機材の配備状況の確認・整備	引き続き実施	河川管理者や消防団と連携し水防資機材の配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状況の確認を実施する。	H28年度から検討	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討	・河川管理者と町・消防本部・水防団等で資機材を確認する。	H28年度から検討	・河川管理者と町・消防本部・水防団等で資機材を確認する。	H28年度から検討			
				合同巡視時に実施	引き続き実施			【R5.3末現在】 ・水防資機材の配備状況を5月～8月にかけて確認・補充を実施(新発田・新潟・新津・津川)	R4実施済、引き続き実施	・河川管理者と連携し阿賀野川重要水防箇所の巡視に合わせた水防資機材の配備状況の確認を行った。	引き続き実施	水防資機材の配備状況の確認・補充を実施。	引き続き実施	・出水期前に確認を行い、補充している。 ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している。	引き続き実施	合同巡視時に実施済み。 出水期前に土のう用砂を津川地域に配備した。	引き続き実施	資機材を適切に、また迅速な水防活動が行えるよう、県との合同巡視時に点検する。	引き続き実施			
				・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	H28年度から検討			・新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	H28年度から検討			・JR羽越本線橋梁右岸部の水防活動時間が短縮できる資機材の検討を進める。	H28年度から検討	・H23水害の教訓として、市の倉庫や消防器具置場、町内会館等に配備済みで、新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	H28年度から検討	・水防資機材の種類や数量を検討する。	H28年度から検討					
			新技術を活用した水防資機材の検討・配備	【R1.5】 阿賀野市の水防訓練への三角水のうの貸し出し	引き続き実施			【R5.3末現在】 ・検討中(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き検討	検討中。	引き続き実施	・出水期前に確認を行い、補充している ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している ・新技術を活用した水防資機材等の配備については、検討中。	引き続き実施	検討中	引き続き検討	検討中	引き続き実施					
②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	L,J	H28年度から順次整備	CCTVカメラ、簡易水位計・量水標の設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次			・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置	H28年度から検討													
				・危機管理型水位計13基の設置済 ・簡易型カメラ計5基の設置	運用に向けて調整中			【R3.1末現在】 ・危機管理型水位計を18河川18箇所に設置済(新発田9・新潟2・新津2・津川5)設置済み。 ・簡易型カメラを8河川14箇所に設置済み。(新発田4・新潟1・新津1・津川8) ・柴倉川水系に新設の丸淵雨量局、合川水位局(阿賀町 常浪川)をR1.6月に設置済(津川)	済 済 済 引き続き実施													
③洪水予測や水位情報の提供の強化(ダム放流警報設備等の耐水化や改良等、水文観測所の停電対策)	J			・観測所における監視体制の強化 ・水害リスクラインに基づく水位予測及び洪水予報 【R1~】水位観測所における耐水化完了・設備改修による監視体制の強化を実施中 【R3.6~】6時間水位予測の提供を開始																		

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
		④庁舎等の耐水化、非常用電源の整備	S	引き続き 検討	庁舎等の耐水対策	事務所・出張所の耐水対策を検討						・市役所本庁舎においては、屋上にも自家発電設備を設置するなど、水害時の対応を実施済み。	実施済み	本庁舎非常用電源の高さ対応済み。		・災害対策本部が設置される庁舎について、非常用電源の高さ対策を実施済み。		本庁舎(災害対策本部設置庁舎)浸水想定あり。自家発電設備の移設等を検討。	引き続き 検討	本庁舎(災害対策本部設置庁舎)浸水想定なし 受水槽を上階に設置し、浸水時も生活用水として確保		
		⑤災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有	S		災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有	適宜、協議会等において災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有								あがの市民病院の建設にあたり、盛土による想定浸水深より高い場所に建設。	—							
		⑥排水機場の耐水化	T,U	引き続き 実施	排水機場の耐水化	完了済						排水機場更新のタイミングに合わせて耐水化を実施	更新 実施		—							
		⑦応急的な避難場所の確保	E			・洪水ハザードマップに記載されている民間施設等を活用した緊急的な避難先の事例を収集し、調整内容や協定の締結方法等について協議会の場等を通じて情報提供。						検討中	引き 続き 検討									
2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組																						
■情報伝達、避難計画等に関する事項																						
		川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信			川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンの活用した情報発信	順次 実施			・新潟県河川防災情報システムの改良及びスマートフォンの活用した画面の検討	引き 続き 検討											
		信濃川下流域情報の構築			信濃川下流域情報の構築	・信濃川下流域との防災情報を一元化し、共有・閲覧できるシステム(プラットフォーム)を構築 平成29年度にHPで公表済	順次 実施															

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期

下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。

※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方气象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社						
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期					
①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実(水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど)				水位・気象情報等の情報発信	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施	・気象警報・注意報を公表し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、雨量などの予想最大値を周知	引き続き実施	・隣県水位局の情報を掲載 ・洪水時における水位の緊急速報メールの検討	引き続き検討																	
					国土交通省発信で携帯電話事業者提供の「緊急速報メール」サービスを平成29年5月より開始。	済	・「危険度を色分けした時系列表」を提供中	引き続き実施	【H29.3】隣県水位局の情報を新潟県河川防災情報システムで公開(河管課) 【R1.6】危機管理型水位計の水位情報を河川防災情報システムにて公開(河管課) 【R1.7】河川情報のプッシュ型配信サービスを開始(河管課) 【R2.7月現在】 ・簡易型河川監視カメラの画像情報を河川防災情報システムにて公開(河管課)	済 済 済 引き続き実施																	
					カメラ映像の情報提供		CCTVカメラの画像をHP上で公開済。	済			・画像情報を河川防災情報システムにて公開済み	引き続き実施							・必要に応じて適宜実施。								
					自治体への情報伝達(ホットライン)		・関係自治体に専用端末を配備し、web会議でのホットラインが可能な環境を構築【R4.3現在】		・必要に応じて、自治体に情報伝達(ホットライン)を実施	引き続き実施	気象状況に応じ、適宜実施中	引き続き実施															
					防災アプリ・ラジオ・メールの更なる普及のための周知・広報									・危険箇所の範囲や避難所の位置を分かりやすく表示する「にいがた防災アプリ」について、更なる普及のため周知・広報を実施する。 ・緊急告知FMラジオについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。	H28年度から実施	・登録制である阿賀野市安全安心メールやLINEについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。	H28年度から検討	・携帯電話やパソコンのメールを利用した五泉あんしんメールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。	引き続き実施								
													・「にいがた防災アプリ」について、市民の利便性向上のため、同アプリの令和元年度末での廃止と新潟県の防災アプリへ移行を促す情報を市HPに掲載し市民に周知。 ・緊急告知FMラジオについて、市HPに掲載し市民に周知。	引き続き実施	広報紙やホームページへの記事掲載、防災塾等におけるチラシの配布による周知を実施。	引き続き実施	出水期前の市広報誌での周知に加え、ホームページ、出前講座等での周知を実施。	引き続き実施						新発田あんしんメールの登録者増加のため、周知・広報を実施。防災アプリ等の普及のための周知・広報を実施。	引き続き実施		
津波用同報無線の活用									・津波用として設置してある同報無線について河川洪水用としても活用するよう、既存設備の運用変更を行う。	H28年度から実施																	
									津波用として設置してある同報無線について河川洪水用としても活用するよう、既存設備の運用変更を行った。	H28年実施済。									津波用同報無線は設置していないが、J-ALERTと連動したサイレンを設置済み。	引き続き実施							

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社														
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期													
				ダム放流情報等の情報発信														・TV電話(告知情報端末)を利用して洪水時のダム放流情報や水位情報等を分かりやすく伝える。	H28年度から検討			・「阿賀野川洪水対策連絡協議会」を活用し、ダムの運用方法やホームページの見方・使用方法などを説明(要望があれば出向いて説明)	引き続き毎年実施												
				FMラジオの配備事業											H31.1から緊急告知FMラジオ配付事業を実施。	引き続き実施	—				津波浸水想定、土砂災害警戒区域付近住民へ貸与	引き続き実施													
				Wi-Fiステーション整備																					検討中										
				降雨流出氾濫モデルの改良																						・様々な災害リスク情報を「蓄積」、「共有」し、的確な避難行動につながるよう、降雨流出氾濫モデル(RRIモデル)を改良、発展させる。	H28年度から検討								
②危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理		HI																					【R4.11】 ・土砂災害警戒情報のCL見直し(砂防課) 【R5.3末現在】 ・土砂災害警戒情報システムの改良(砂防課)	済 引き続き実施	広報誌やホームページで住民周知を図った。										
②洪水予測や河川水位の状況に関する解説		B,H,I,J																						・平常時から河川の注意点などについて、専門家の解説として国土交通職員による解説を実施。 ・災害発生に備え、新潟地方気象台と連携し、合同記者会見を実施。 ・新潟県メディア連携協議会を設立し、報道機関と交えた関係機関との情報共有・連携し、より良い災害情報の発信の内容及び発信の仕											
③関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備		C	引き続き実施	タイムラインの整備・改善・支援																				・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	関係機関の要請に応じて、気象部門の助言、作成支援を実施。	順次実施									
																								・関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備を検討	関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。	引き続き実施	阿賀野川(国管理区間)についてはタイムライン整備済み。改善については検討中。	引き続き実施	・関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備を実施運用。	引き続き実施	関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備を実施運用。	引き続き実施	関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備を実施運用。	引き続き実施	検討中

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社			
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期		
④避難指示等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	C	C	順次実施	タイムラインの整備・改善・支援	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	北陸地整・県・市・町と共同し、整備・改善を支援	順次実施	・市町が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供など	順次実施	・ホットラインのタイミングや庁内の体制などについて、タイムラインの改善を実施する。	H28年度から検討	・協議会の中で検討する避難計画(案)等をふまえ改善を行う。	H29年度から実施	・早出川(国管理区間)は整備済み ・阿賀野川については、タイムラインを策定 ・協議会の中で検討する避難計画(案)等をふまえ改善を行う ・河川管理者と連携を図り、改善・整備を行う。	H27年度から順次実施	・タイムラインの策定	新潟県からの情報提供後に実施						
					【H28.5.27】洪水対応演習時にタイムラインのたたき台作成 H29出水、R1出水、R2出水において適宜自治体に水位情報等を提供	引き続き実施	[R02.7月]洪水警報の危険度分布活用に向けた地域防災計画の改定支援を実施。 ・避難判断基準の検討については、市町村訪問により、R3.5改定の避難情報に関するガイドラインに沿った避難判断基準の解説を実施し、市町村支援を行う。あわせて、台長による首長訪問を実施し、市町村との連携強化を図る。(Web会議等を活用)	引き続き実施	【H29.6】早出川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R1.7】安野川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新発田) 【R1.11.15】新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R4.4】 ・阿賀野川津川水位局、常浪川広瀬水位局について、近年の水位上昇速度を反映した水位設定の見直し(津川) 【R5.3末(予定)】 ・阿賀野川支川22河川の洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R5.3末現在】 ・新井郷川水系で洪水浸水想定区域図(L2)をR5に作成予定(新発田)	済	・洪水対応演習時にタイムラインを確認。	引き続き実施	阿賀野川(国管理区間)についてはタイムライン整備済み。改善については検討中。	引き続き実施	早出川(国・県管理区間)のタイムラインは整備済み。	引き続き実施	阿賀野川、常浪川のタイムラインを整備済み。阿賀野川のタイムラインの改善を検討中。阿賀野川津川水位局、常浪川広瀬水位局の水位設定の見直しに伴い、各タイムラインの見直しを実施。	引き続き検討	検討中 新発田市版マイタイムラインを作成し市民へ周知	引き続き実施				
⑤想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	D,E,F	D,E,F	H28年度から順次実施	洪水浸水想定区域図・家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表	・阿賀野川洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・早出川洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供	H28年度から実施			想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表を行う。	H28年度以降検討														
					【H28.5】HPにて公表	済			【H29.6】早出川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R1.7】安野川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新発田) 【R1.11.15】新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R5.3末(予定)】 ・阿賀野川支川22河川の洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R5.3末現在】 ・新井郷川水系で洪水浸水想定区域図(L2)をR5に作成予定(新発田)	済														
				氾濫シミュレーションの公表	・想定最大規模降雨の阿賀野川氾濫シミュレーションの公表 ・想定最大規模降雨の早出川氾濫シミュレーションの公表 平成29年より公表。(浸水ナビ)	H28年度から実施																		

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期

下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。

※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社				
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期			
⑥立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E F,K	H28年度から順次実施	浸水想定区域の浸水深・水継続時間・家屋倒壊危険区域の情報提供	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。 【H28.5】HPにて公表	H28年度から実施	済			・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。 【H29.6】早出川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R1.7】安野川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新発田) 【R1.11.15】新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R5.3末(予定)】 ・阿賀野川支川22河川の洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R5.3末現在】 ・新井郷川水系で洪水浸水想定区域図(L2)をR5に作成予定(新発田)	H28年度以降検討	済														
			立ち退き避難が必要な区域・避難方法の検討							・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。 新発田からの情報提供後から実施	H28年度から検討	済	・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。 ・想定最大規模での浸水深により避難計画の見直し整理	H28年度から検討	済	・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。	H29年度以降検討	済	・浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。	H29年度以降検討					
			垂直避難等、柔軟な避難方法の検討						・新発田から情報提供後、家屋倒壊等氾濫想定区域を洪水ハザードマップに掲載し、全戸配布。	H30年度実施済み	済	想定浸水深や家屋倒壊等氾濫想定区域を表示した洪水ハザードマップを作成。H30.5に全世帯へ配布。	H28年度から検討	済	・家屋倒壊等氾濫想定区域等を表示したハザードマップ作成と全世帯への配布がH30.4で完了。 浸水深3m以上・家屋倒壊等氾濫想定区域については、早期立ち退き避難区域として指定し、ハザードマップへ記載した。	H29・30年度	済	想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域を示した洪水ハザードマップを作成し、R2.7に全世帯へ配布。	R2完成	想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域も含めた新発田市ハザードマップの全戸配布及び、市民公開GISにて公開した。	H30完成				
			垂直避難等、柔軟な避難方法の検討					垂直避難等、柔軟な避難方法の検討	新発田からの情報提供後から実施	H28年度から検討	済	・広域避難の他に垂直避難等、柔軟な避難方法の検討 ・家屋倒壊等氾濫想定区域における頑丈で高い建物等での屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討 ・避難路、その他の避難経路の検討 ・想定最大規模での浸水深により避難計画の見直し整理	H28年度から検討	済	・広域避難の他に垂直避難等、柔軟な避難方法の検討 ・家屋倒壊等氾濫想定区域における頑丈で高い建物等での屋内安全確保等、柔軟な避難方法の検討	H29年度以降検討	済	・広域避難の他に垂直避難等、柔軟な避難方法の検討。							
								・阿賀野川流域において、家屋倒壊等氾濫想定区域内にある避難所について、避難所を開設しないこととした。(北区:1箇所 江南区2箇所 秋葉区1箇所)	H31年度運用開始	引き続き実施	ハザードマップの説明の際に、垂直避難等、柔軟な避難方法について説明を実施。	引き続き実施	・家屋倒壊等氾濫想定区域等を表示したハザードマップ作成と全世帯への配布がH30.4で完了。 浸水深3m以上・家屋倒壊等氾濫想定区域については、早期立ち退き避難区域として指定し、ハザードマップへ記載した。	H29・30年度	済	ハザードマップの説明の際に、垂直避難等、柔軟な避難方法について説明を実施。	引き続き実施								

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期

下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。

※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
	⑩水位予測の検討及び精度の向上	B.M	H28年度から検討	水位予測の検討及び精度の向上	・現状予測期間(~3時間) ・更に数時間(4~6時間程度)先も含め水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	H28年度から検討				・上流水位局による下流水位予測の検討	H28年度から検討											
					・水害リスクラインにてR3.6~6時間先の水位予測の提供を開始【R4.3】	運用に向けて調整中																
	⑪気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善	J	H29年度	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善			・警報等における危険度の色分け表示 ・早期注意情報(警報級の可能性)の情報提供 ・災害発生の危険度の高まりを確認できる「危険度分布の予測(メッシュ情報)」の提供・活用促進	H29年度出水期から実施														
					・キキクル(危険度分布)の改善:警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設(R4.6) ・大雨特別警報(浸水害)の指標の改善(R4.6) ・気象庁ホームページにおける水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示(R5.2)	H29年度出水期から実施																
	⑫流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討	B	引き続き検討	流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討	・流域雨量指数(洪水警報の危険度分布)を活用した水害危険性周知を検討 ・協議会等で危険度分布の事例解説を実施し、普及啓発を図る。		実施中															
					・避難情報に関するガイドライン(内閣府)R3.5改定を受けて、洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)活用に向けた地域防災計画の改定支援を適宜実施。	引き続き実施																
	⑬関係機関が連携した訓練の実施	C.I.J	引き続き実施	洪水対応演習、水防訓練等の実施	・洪水対応演習の実施		実施中			・洪水対応演習の実施												
					【R3.5】阿賀野川・早出川総合水防演習を実施	引き続き実施	・【R4.4.26】洪水対応演習実施	引き続き実施	【R4.4.26】洪水対応演習実施	引き続き実施	洪水対応演習の実施	引き続き実施	【R4.4.26】洪水対応演習の実施	引き続き実施	・関係機関が連携した洪水対応演習を実施。	R3年度	【R4.6.19】阿賀町水防訓練を実施。	関係機関と協力し開催(水防訓練)				
	⑭市町村庁舎や災害拠点病院の施設関係者への情報伝達体制、方法について検討	I.K	引き続き実施	水防情報の伝達	・情報伝達元の市町に対し、正確かつすみやかな予警報の伝達に努め、またホットライン等も含めた新たな取り組み等で協力して行く。	順次実施	必要に応じて、洪水危険度に応じたホットラインを実施。	実施中		必要に応じて、洪水危険度に応じたホットラインを実施。	実施中											
					・市町村とのweb会議を活用したホットライン構築 ・CCTV、危機管理型水位計、簡易型監視カメラをはじめ監視体制の	引き続き実施	引き続き適宜実施。	引き続き実施	【R5.3現在】引き続き適宜実施	引き続き実施	検討中。	引き続き実施	・市関係部署の水害に関する連絡体制は構築済み。		町関係部署の水害に関する連絡体制は構築済み。		・市関係部署の水害に関する連絡体制は構築済み。					

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期

下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。

※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社			
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期		
■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組	①自治会や地域住民が参加した水害に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	A	順次毎年実施	重要水防箇所等の共同点検を実施	順次毎年実施			・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所等の共同点検を実施	H28年度から実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施					
				沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施【R3.6.20、R4.5.24・5.26】	引き続き毎年実施			【R5.3末現在】 ・阿賀野市(R4.5.19)、新発田市(R4.5.18)と共同で重要水防箇所等の点検を実施(新発田) ・五泉市とR4.6.3に共同で重要水防箇所等の点検を実施(新津) ・阿賀町とR4.5.31に共同で重要水防箇所等の点検を実施(津川)	引き続き毎年実施	・河川管理者と実施した阿賀野川重要水防箇所巡視に参加。	順次毎年実施	【R4.5.24】河川管理者が主催する重要水防箇所巡視に参加。	引き続き実施	・河川管理者が主催する重要水防箇所等の共同点検に参加。 ・河川管理者と自治体で重要水防箇所等の共同点検を実施。	引き続き実施	河川管理者が主催する重要水防箇所等の共同点検に参加した。	順次毎年実施							
	②小中学校等における水災害教育を実施	A	引き続き実施	出前講座(水害教育)の実施	引き続き実施	・市町の要請により、出前講座等を積極的に going to 行う。			・新潟県防災教育プログラム【洪水災害編】を作成済み。 ・市町の要請により、出前講座等を積極的に going to 行う。	引き続き実施	・新潟県防災教育プログラムに基づき全小中学校の各学年で、防災教育(洪水災害)を実施する ・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進める。 ・防災士や消防署・消防団等と連携した体験型の防災学習を実施 ・学校と家庭や地域が連携した実践的な防災教育を実施。	H27年度から実施	・市内の小学高学年の水防副教材を作成する。	H28年度から実施	・小中学校での水害教育を実施している。	引き続き実施	・小中学校で防災教育を実施する。	引き続き実施						
				教育委員会との連携・効果的な対応の検討	引き続き実施	【R3.9.9】新潟市横越小学校で防災の出前講座を実施。 【R3.11.1・25】五泉川北小学校で防災の出前講座を実施。 【R3.12.2】五泉南小学校で防災の出前講座を実施。 【R4.6.16】新潟市横越小学校で防災の出前講座を実施。	引き続き実施			【R5.3末現在】 ・新潟市立濁川中学校(R4.11.19)に、「濁川地域の川について」と題した出前講座を実施(新潟) ・新潟市立新津第二小学校(R4.6.13)、新潟市立結小学校(R4.6.27)、五泉市立大蒲原小学校(R4.11.24)、五泉市立村松桜中学校(R5.2.21)に河川・水害・ダム等の出前講座を実施(新津) ・阿賀町立上川小学校(R4.11.28)に洪水防災教室の出前講座を実施(津川)	引き続き実施	・新潟県防災教育プログラムの各学年で、防災教育(洪水災害)を実施。(H27-R1) ・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進めている。 ・R2以降、「防災教育」学校・地域連携事業指定校における防災教育プランの見直し。 ・防災士や消防署・消防団等と連携した体験型の防災学習を実施 ・学校と家庭や地域が連携した実践的な防災教育を実施	引き続き実施	R3.6に小学5年生を対象に防災ハンドブックを配布。 R4.7.5に洪水について、R4.10.4に地震について、神山小学校で防災学習を実施。	引き続き実施	・市内小中学校等において防災学習を実施。 ・マイタイムライン作成に関する出前講座などを実施	引き続き実施	町内小学校において、防災学習を実施。	引き続き実施	市内小学校などで防災出前授業を実施。	引き続き実施			
	③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A	引き続き実施	説明会・見学会の実施	引き続き実施	・市町の要請により、出前講座等を積極的に going to 行う。			・市町の要請により、出前講座等を積極的に going to 行う。	引き続き実施	・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施	新潟県からの情報提供後に検討	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度から実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度以降実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度以降実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度以降実施				
				説明会・見学会の実施	引き続き実施	・要請があったコミュニティ協議会、自治会、市議会等へ説明会・見学会を実施	引き続き実施			【R5.3末現在】 ・消防学校職員へ水防災に関する講義を計9回(R1~R4)実施(河管課) ・新潟市の小学校(早通小他3校)、五泉市の小学校(橋田小他2校)、阿賀野市の小学校(分田小)の計8校に早出川ダムへの見学会時にダム・河川・災害等についての説明を実施(新津)	引き続き実施	・自主防災組織や住民向けに、出前講座や勉強会を実施。(啓発DVDや豪雨・台風動画の視聴、マイタイムラインの作成、職員による講演など)	引き続き実施	阿賀野川洪水時の浸水想定区域の自治会等に対し、防災塾(防災講座・訓練)を実施。	引き続き実施	・出前講座を各所で実施。 ・ハザードマップ作成後、住民説明会を実施。 ・マイタイムライン作成に関する出前講座などを実施	引き続き実施	区長会議において、ハザードマップを活用した勉強会を実施。	引き続き実施	自主防災組織へ出前講座を実施。(ハザードマップ等の説明)	引き続き実施	・ダム操作に関する各自治体への出前講座の開催 ・ダム見学会を通じてダム操作等に関する説明を開催。	H29年度から実施	・津川地区振興事務所との情報交換会を実施。【R3.11 書面開催】 ・ダム操作等に関する説明を実施。 R4年度は津川地区振興事務所と協議のうえ実施見送り

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。

※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社					
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期				
④まるごとまちごとハザードマップを整備	D, F I	I	順次実施	洪水ハザードマップの検討・整備支援	・市町が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施			・ハザードマップの基礎資料となる浸水想定区域図の作成と公表	引き続き実施				・渡場、分田8自治会で取組みを実施	H28年度から実施	・ハザードマップの見直しの際に検討する。										
					【H29.3】阿賀野市下里地区にハザードマップ整備。 【H30.3】法柳、深堀、京ヶ島及び下里の4自治会で設置 【R1.6、R1.7】窪川原、粕島の2自治会で設置 【R2.8、R2.11】小浮新田、新保、久保、嘉瀬島の4自治会で設置 【R3年度】小口・大開地区、小松地区にて設置 【R4年度】阿賀野市分田8、渡場自治会で設置。新潟市満日コミュニティ協議会で設置検討。	引き続き実施		【H29.6】早出川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R1.7】安野川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新発田) 【R1.11.15】新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R5.3末(予定)】 ・阿賀野川支川22河川の洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R5.3末現在】 ・新井郷川水系で洪水浸水想定区域図(L2)をR5に作成予定	済 済 済 済 引き続き実施・検討																	
⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料(浸水実績含む)を作成・配布	H	I	順次実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・洪水時の情報収集や避難の判断基準等を一般住民に理解してもらえる家庭向けのチラシを作成し、ホームページで公表 ・チラシを市町村や県地域整備部へ配布	引き続き実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	新潟県からの情報提供後に検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討						
					水防災に関するパンフレットを作成、記者発表、HPでの公表、市役所等へ配布(一般配布用)を実施	引き続き実施	・水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用 ・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施	引き続き実施	【R3.1末現在】 ・H28年度から継続的にクリアファイル「洪水から命を守る」をほぼ配布済(新発田・新潟・新津・津川) ・洪水時の避難に役立つ情報をまとめた地域版洪水対応ポケットブックを作成(新津) ・出前講座・ダムへの見学者・R3年度阿賀野川・早出川総合水防演習時等で配布する「阿賀野川水系早出川洪水浸水想定区域図」や河川に関する情報についてを記載したクリアファイルをR2.2月に作成(新津)	済 引き続き実施	・河川管理者が作成した水防災に関するパンフレットを危機管理防災局及び区役所の窓口に設置し、市民へ配布。	引き続き実施	パンフレットを窓口に設置。	引き続き実施	・随時広報紙及び市主催のイベント等において防災啓発を実施。 ・マイタイムライン記入シートと手引きを作成し、全戸配布。 ・マイタイムラインの使い方や記入方法を市広報、HP、youtubeなどで周知。	引き続き実施	水防に関するパンフレットを窓口へ設置。	引き続き実施	振興局作成の水防に関するパンフレットを窓口へ設置。	引き続き実施						
自主防災のあり方・役割の(再)啓発				自主防災のあり方・役割の(再)啓発					・住民の防災意識を高めるための研修を実施	引き続き実施	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施		・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次実施	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次実施	自主防災組織の役割・活動についての出前講座を実施。	引き続き実施								
								・自主防災組織や住民向けに、出前講座や勉強会を実施。(啓発DVDや豪雨・台風動画の視聴、マイタイムラインの作成、職員による講演など)	引き続き実施	住民の防災意識・地域の防災力を向上させるため、防災塾(講座・訓練)を実施。	引き続き実施	・自主防災組織設立後、資器材整備や活動等に対し補助金を支給。 ・各所で出前講座を実施。 ・市より希望する団体へ啓発DVDや資料等の貸し出しや配布を行った。	引き続き実施	自主防災組織の設立、防災訓練の呼びかけ、実施による地域防災力の向上を図った。	引き続き実施	自主防災組織設立後、資器材整備や活動等に対し補助金を支給。 自主防災組織や住民へ向け出前講座の実施。	引き続き実施									

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社				
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期			
⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K	順次実施	実践的な研修・訓練の実施									自主防災組織の活動を支援(費用助成・市推奨訓練の設置)	引き続き実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施						
⑦土砂災害に関する行動計画策定の支援																									
⑧地域防災力の向上のための人材育成	K			・防災教育等の場を活用し、想定最大の洪水浸水想定区域図の説明																					
⑨本川と支川の合流部等の対策(リスク情報の共有)	HI			浸水想定区域図などを活用し、リスク情報を周知																					
⑩関係機関が連携して、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難	引き続き実施																								

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社				
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期		
		訓練の実施		その他の防災情報 を活用した住民参加 型の避難訓練			要請に応じて、気象部 門の訓練支援を実施	適宜 実施																
				避難場所への避難 訓練			要請に応じて、気象部 門の訓練支援を実施	適宜 実施					自治会単位の防災訓 練において、避難所へ の避難訓練を実施	引き 続き 実施	・国・県・市等の共催に より実施した阿賀野 川・早出川総合水防演 習で住民参加型の避 難訓練を実施。 ・市主催の防災訓練で 住民参加型の避難訓 練等を実施。	R3年 度 R4年 度	検討中。		地域住民が参加した避 難場所への避難訓練 実施	引き 続き 実施				
2. ソフト対策の主な取組 (2) 氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防や流域対策の取組																								
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																								
		①水防団等 への連絡体 制の確認と 首長も参加 した実践的 な情報伝達 訓練の実施	N	引き続き 毎年実 施	・水防連絡会にて連絡 体制の確認を行う。 【R3.3.17、R4.3.16】水防 連絡会にて確認	引き 続き 毎年 実施			・出水時における連絡 体制の確認	引き 続き 毎年 実施	・水防連絡会にて連絡 体制の確認を行う。	引き 続き 毎年 実施	・河川管理者と市、消 防本部、水防団の連絡 体制を確認する。	引き 続き 毎年 実施	・水防連絡会にて連絡体 制を確認する。	引き 続き 毎年 実施	・水防連絡会にて連絡体 制を確認する。	引き 続き 毎年 実施	・水防連絡会にて連絡 体制を確認する。	引き 続き 毎年 実施	・出水期間前の「阿賀 野川洪水対策連絡協 議会」開催による連絡 体制の確認 「阿賀野川洪水対策連 絡協議会」にて連絡体 制を確認【R4.6 書面開 催】	引き 続き 毎年 実施		
				情報伝達訓練の実 施・参加・支援	県・市・町と共同で情報 伝達訓練を実施する。 【R3.4.20、R4.4.26】洪水 対応演習を実施	引き 続き 毎年 実施	・情報伝達訓練への支 援	引き 続き 毎年 実施	・情報伝達訓練の実施	引き 続き 毎年 実施	河川管理者が行う情報 伝達訓練に参加する	引き 続き 毎年 実施	河川管理者が行う情報 伝達訓練に参加する。	引き 続き 毎年 実施	・河川管理者が行う情 報伝達訓練に参加す る。 ・水防訓練、防災訓練 を通じて、情報伝達訓 練を実施	引き 続き 毎年 実施	河川管理者が行う情報 伝達訓練に参加する	引き 続き 毎年 実施	河川管理者が行う情報 伝達訓練に参加する	引き 続き 毎年 実施	・河川管理者が実施す る実践的な訓練に参加 ・全国ダム管理演習を 通じての情報伝達訓練 の実施	引き 続き 毎年 実施		
		②自治体関 係機関や水 防団が参加 した洪水に 対するリス クの高い箇 所の合同巡 視の実施	L,M N	引き続き 毎年実 施	・重要水防箇所等の合 同巡視を実施 新型コロナウイルス拡大 防止のため規模を 縮小して、自治体関係 機関と共同で重要水防 箇所等の点検を行っ た。 【R3.6.20、R4.5.24・ 5.26】	引き 続き 毎年 実施			・出水期前に市町村や 水防団等と重要水防 箇所等の合同巡視を 実施	引き 続き 毎年 実施	・河川管理者と水防関 係機関で重要水防箇 所等の合同巡視を 実施する。	引き 続き 毎年 実施	・河川管理者と水防関 係機関で重要水防箇 所等の合同巡視を 実施する。	引き 続き 毎年 実施	・河川管理者と水防関 係機関で重要水防箇 所等の合同巡視を 実施する。	引き 続き 毎年 実施	・河川管理者と水防関 係機関で重要水防箇 所等の合同巡視を 実施する。	引き 続き 毎年 実施	・河川管理者と水防関 係機関で重要水防箇 所等の合同巡視を 実施する。	引き 続き 毎年 実施	・重要水防箇所の点 検・巡視への参加 阿賀野川重要水防箇 所等の巡視に参加【満 願寺管内】 ※R4年度コロナ感染 拡大防止のため欠席	引き 続き 毎年 実施		
		③水防団間 での連携、 協力に関 する検討、 調整	O,Q	引き続き 検討									検討中。	引き 続き 実施	・出水期前に水防団を 集めて連絡体制等の 確認を実施。					無線、消防団メールを 活用した連絡体制の強 化				
		④毎年、関 係機関が連 携した水防 実働訓練等 を実施	P,Q	引き続き 毎年実 施	・水防管理団体が行う 訓練への参加 ・水防工法講習会の支 援等を行う。 【H30.8.27】古川樋門で 新潟県、阿賀野市と共 同で災害対策車両の 訓練を実施。 各自治体の水防訓練 に参加。 【R1.5.9】本田川排水機 場排水ポンプ車の実 働訓練を実施 【R2.5.13、R4.5.12】本 田川排水機場で阿賀 野川災害対策車等訓 練を実施	引き 続き 毎年 実施	・関係機関等の要請に より、訓練への支援	引き 続き 実施	・水防管理団体が行う 訓練への参加 ・水防工法講習会の支 援等を行う	引き 続き 毎年 実施	・毎年、出水期前に水 防訓練を実施 ・毎年行っている水防 訓練の内容を見直し、 実働水防訓練を実施	引き 続き 毎年 実施	・毎年、出水期前に水 防訓練を実施 ・毎年行っている水防 訓練の内容を見直し、 実働水防訓練を実施	引き 続き 毎年 実施	・毎年、出水期前に水 防訓練を実施 ・水防訓練、防災訓練 の内容を検討する。	引き 続き 毎年 実施	・毎年、出水期前に水 防訓練を実施 ・毎年行っている水防 訓練の内容を見直し、 実働水防訓練を検討	引き 続き 毎年 実施	・毎年、出水期前に水 防訓練を実施 ・毎年行っている水防 訓練の内容を見直し、 実働水防訓練を検討	引き 続き 毎年 実施	・国・県・市等の共催に より、阿賀野川・早出 川総合水防演習を 実施。	R3年 度	【R4.6.19】阿賀町水 防訓練を実施。	引き 続き 毎年 実施

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期

下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。

※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	O,Q	引き続き実施	水防団員の募集促進									・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・広報誌やホームページで水防協力団体を募るページを作成し、募集を実施	H28年度から実施	・広報誌やホームページで水防協力団体を募るページを作成し、募集を実施	引き続き毎年実施	・広報誌やホームページで水防協力団体を募るページを作成し、募集を実施	引き続き毎年実施				
								・各種イベント等あらゆる機会をとらえ、消防団員の入団促進活動を実施。	引き続き実施	消防団作成の会報に団員募集の記事を掲載。市ホームページに消防団・消防団協力事業所募集のページを掲載。	引き続き実施	・広報・HP、地元消防団を通じ募集中。	引き続き実施	広報、ポスター、町ホームページで消防団員を募集した。	引き続き毎年実施	ポスターの掲示などで消防団を募集。	引き続き実施						
	U	H28年度	タイムラインの整備・支援	・堤防が著しく低いJR羽越本線橋梁右岸部の水防に関して、毎年、関係機関等との連絡体制の確認 ・タイムライン作成に必要な水位情報等の提供	H28年度から実施								・JR羽越本線橋梁右岸部の水防活動手順・時間を再確認し、タイムラインを整備する。	H28年度から実施									
				JR・阿賀野市と現地で連絡体制を確認【H30】 【R1.10】台風19号出水時、水防対応【R2.5.29】覚書締結	引き続き実施							河川管理者、市(危機管理課・消防本部・消防団)で現地確認を実施。	引き続き実施										
	⑦国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	P	引き続き実施	水防技術講習会への参加	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			
水防技術講習会に参加					引き続き実施			【R3.1未現在】 ・職員が3回(R2.10.27、11.10、11.24)参加(津川)	引き続き実施	R4年度参加者無し。	引き続き実施	R4年度参加者なし。	引き続き実施	・不参加	引き続き実施	不参加今後参加を検討。	引き続き実施	検討中	引き続き実施				
⑧大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	R	H28年度から検討	復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から検討			・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から実施														
				検討中【R3.4現在】	引き続き実施			【R5.3未現在】 必要に応じて検討(河管課)	引き続き検討														
■流域対策に関する取組																							
①浸水被害軽減地区の指定のための情報提供及び複数市町村に影響が想定される場合の共有、連携	D,E	引き続き実施	水被害軽減地区の指定のための情報提供及び複数市町村に影響が想定される場合の共有	浸水被害軽減地区の指定に参考となる情報の市町への提供	順次実施																		
				浸水被害軽減地区の検討を実施																			
②立地適正化計画の作成												立地適正化計画策定済(H29.3月)	H28年度										
														防災指針の追加や居住誘導区域の見直しを含めた立地適正化計画の改定の検討	未定	立地適正化計画策定済(R4.7月)	R4年度						

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和5年1月段階の取組状況(進捗) ※随時更新する。
 ※「課題の対応(A~W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

項目	減災のための取組方針 (概ね5年間)				北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																							
①大規模水害を想定した阿賀野川排水計画(案)の検討を実施	S.T	H28年度から検討	排水計画の検討	・排水機場、樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H28年度から検討					引き続き毎年実施	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定	H29年度から検討	・排水ポンプの設置箇所の選定	H28年度から検討					
				L1・R1ブロックの排水計画(案)の検討を実施	引き続き実施	検討中	引き続き検討	H30年度に、国が古川樋門に堤防乗り越し管を、県と市が排水ポンプ格納施設を設置。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き実施
				手引きに基づき、L1.R1ブロック見直し中。R2.R3ブロックの検討を実施中【R3.1現在】																			
②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	T	引き続き毎年実施	出水時連絡体制の確認・整備	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施			・連絡体制の確認	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い毎年確認する。	
				【H30.8.27】古川樋門で新潟県、阿賀野市と共同で災害対策車両の訓練を実施。 【R1.5.9】太田川排水機場で排水ポンプ車の実働訓練を実施 【R2.5.13、R4.5.12】太田川排水機場で阿賀野川災害対策車等訓練を実施	引き続き毎年実施			【R5.3未現在】 ・整備局へR4.6.23に連絡体制の確認及び実働訓練の協力依頼(河管課) ・阿賀野川河川事務所、阿賀町職員と合同で重要箇所、要請時の排水ポンプ車の配置箇所確認(津川)	引き続き毎年実施・参加	・洪水対応演習にて排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行った。	引き続き毎年実施	排水ポンプ出動要請時の連絡体制を確認。	引き続き実施	・排水ポンプ車出動要請時の連絡体制を確認。	引き続き実施	排水ポンプ出動要請時の連絡体制を確認。	引き続き実施	排水ポンプ出動要請時の連絡体制を確認。	引き続き実施				
③関係機関が連携した排水実働訓練の実施	U	順次実施	排水実働訓練・水防管理団体が行う水防訓練への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施	H28年度から実施			・排水ポンプ車の実働訓練の実施	引き続き毎年実施	・水防訓練と合同で実施 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討	H29年度から実施	・水防訓練と合同で実施 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加	H28年度から実施	・水防訓練と合同で実施 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加	H29年度から実施	・水防訓練と合同で実施 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加	H29年度から実施	・水防訓練と合同で実施 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加	引き続き毎年実施				
				【H30.8.27】古川樋門で新潟県、阿賀野市と共同で災害対策車両の訓練を実施。 【R1.5.9】太田川排水機場で排水ポンプ車の実働訓練を実施 【R2.5.13、R4.5.12】太田川排水機場で阿賀野川災害対策車等訓練を実施	引き続き毎年実施			【R3.5.30】 ・阿賀野川早出川総合水防演習で排水ポンプ車の実働訓練に参加。 【R4.5.12】 ・五泉市で阿賀野川河川事務所、関係市町と排水ポンプ車の実働訓練に参加(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き実施	河川管理者が行う操作訓練に参加する予定	引き続き毎年実施	【R4.5.12】阿賀野川災害対策車等訓練に参加。	引き続き実施	・阿賀野川・早出川総合水防演習で参加	R3年度	河川管理者が行う操作訓練に参加する予定。	引き続き実施						
④内水排水ポンプの運転調整の検討	T,U,V	引き続き検討	内水排水ポンプの運転調整基準及び方法の検討	・運転調整基準及び方法の検討	引き続き検討					・検討中	引き続き検討	運転調整基準及び方法を検討	引き続き検討	検討中。	引き続き実施								

